



CONTENTS

- 2 卒業生、修了生に贈る言葉
- 3 卒業・修了おめでとう
- 3 機械工学科
- 4 電気工学科
- 5 電子工学科
- 6 情報工学科
- 7 建築学科
- 8~9 専攻科
- 9 吹奏楽部 定期演奏会
- 10 卒業生 進路先インタビュー【大学編入合格編】【民間企業合格編】
- 11 卒業生進路先一覧
- 12 フィンランド留学報告
ロケットランチャープロジェクト同好会
～企業とともに宇宙に挑戦! インターステラテクノロジス社とのロケット共同制作について～
- 13 新学生会長あいさつ 新寮長あいさつ
平成30年度 寮ではこんなイベントがありました!
- 14 冬季校内体育大会
- 15 退職に際して
- 16 行事予定(3月～6月)



卒業生・修了生に 贈る言葉

校長 小林 幸夫

「卒業生・修了生に贈る言葉」

～イノベーションを起こそう～

釧路高専本科卒業そして専攻科修了の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。卒業・修了に際し、君たちに言葉を贈ります。それは、「イノベーションを起こそう」です。

中国語で「イノベーション」を「創新」と言います。「イノベーション (innovation)」の日本語は、「革新」や「刷新」とされているのですが、あまりぴったりにないなと思っていました。それよりは「創新」の方がいい感じですね。

「イノベーション」は、とても大事な概念だと思います。少しずつの改良や改善ではなく、「イノベーション」には、がらりと変えてしまおうというイメージがあります。しかも、ひっくり返すということが目的でなく、「とてつもなく、良くしちゃうぜ」というふうなポジティブな意味を感じます。新しい価値の創造とも言われます。

馬車が走っていた時代に、もつとよく走る馬を鍛え上げるのではなく、自動車を登場させたら、それは「イノベーション」です。少しずつよくすることについては、それが、どれほどいいことなのか、さんざん聞かされてきたと思います。でも、「イノベーション」のすばらしさ、おもしろさ、それが大拍手に値するものであることなどは、あまり習う機会がなかったと思います。何か、「浮ついた考え」として否定されそうではないでしょうか。だから、ものすごく日本に足りてないと言われています。では、どうすればイノベーションを起こせるでしょうか？

学校のいわゆるテストのときに、他の人に相談するのはいけない。他の人の答えを訊いて、参考にするのもいけない。参考になりそうな本を持参し、それを見るのもいけない。わからなくなったところで、誰かに電話したり、メールで意見を訊いたりするのもいけない。つまり、自分の記憶のなかにある材料だけを使って、自分だけで考えて、答えを出すのがテストでした。

ところが、社会に出ると、まったくそれは逆になるわけです。相談できるところは相談しなきゃ。参考書を読んで参考になるならどんどん読まなきゃ。会社やチームの外にいる人からだって、意見を聞こうよ。記憶があやふやなままにするのではなく、ちゃんとしたデータを参照してくれよ。学生時代に、誰にも頼らず、「ひとりできるもん」をまじめにやってきて、どうだ、こんなにたくさん一人でできるのだと、胸を張って自慢していたようなことを、そのまま続けていると社会では伸び悩むことになります。

社会は、個人的な優秀さを競い合う場ではなく、複数の人が力を合わせて、問題を解決する場なのです。「お手柄をあげたい」という気持ちだけでは、他の人に味方になつてもらえなくなります。ほとんどすべての仕事は、「合作」であり「協業」です。独立的に見える画家や音楽家などのアーティストでも、その作品ができたというだけでは、仕事になりません。たくさん人の助けが必要なのです。

一人の人の身に備わった「実力」は、もちろんいつでも問われているでしょうが、もう一つなにかを成すには「協力」という名の力が、とてもとても必要なのです。

イノベーションを起こすのも、一人ではできません。他の人と協力して実現できることです。これから社会に出る人、新たな学びをはじめた人、「協力」という名の力をつけて、イノベーションを起こしてください。(でも、高専のテストを乗り切るのに、友人と「協力」していたから、君たちにはすでに力が備わっているかもしれませんね) 期待しています。

卒業・修了おめでとう!!

機械工学科



あっという間の
5年間

5年 機械工学科
奥村 昇



5年の前期は就職活動や受験勉強であっという間に時間が過ぎていきました。その分後期になると、悔いが残らないようたくさんは頑張りました。

こう振り返ると、学年が上がるにつれ時間が短く感じるといった先輩の言葉がよくわかります。後輩の皆さんは、後悔しないよう最高だったと言える5年間を創り上げてください。私たちがそれぞれの道で頑張っていきます!

しかし3年にもなると、高専生活や寮生活にもだいぶ慣れてきて、何にも考えずに遊びまくっていた記憶があります。

4年になると、授業はほぼ専門科目、毎週のレポート提出、待ちに待った研修旅行など、とても濃い1年でした。

2年になると、機械工学科に配属され、少しずつ専門科目が入ってきました。やはり専門科目は難しく、クラスのほとんどが赤点というテストもありました。

毎日でした。

1年の頃は、鉚路高専に来るまで聞いたこともなかった大楽毛という地で、入寮初日から先輩方に怯える毎日でした。

自分にとって合っていたのかもしれないと思える5年間で、今から、そんな5年間を振り返りたいと思います。



強く生きよ!

5年機械学級担任 小杉 淳

卒業おめでとう。皆さんの学校生活を様々な面で支援してくれた保護者の方々、そして苦楽を共にした多くの友人とその喜びを分かち合うことでしょう。さて、4月から始まる新しい生活へ向け、ここで一度、これまでの自分を振り返り、そしてこれからの自分の成長について考える機会を持つて欲しい。

生まれて成人を迎えるまでの間、実に多くのことを学び成長したことは、本人よりも保護者の方がむしろ実感として強いかもしれない。成長しきれていない部分も当然あるが、そう思えることこそが大切で、自分の伸び代がまだそこにある。学校生活で出し切れなかった自分の高い能力や魅力を活かす機会はなくさんある。そこに向けて努力し頑張ることが自らの存在感を高め、ひいては技術者として人々の生活を豊かにしていくことにつながる。成長しようとしている人だけが感じる壁がある。ぜひその壁を感じ、乗り越え強く生きて欲しい。強く生きるとは、負けないことではなく、どんな困難にぶつかっても立ち上がっていくことだろう。世の中、いろいろ大変と言われるが、こういう時こそ「大」きく「変」わるチャンスでもある。新しい生活が始まる。人間力を高め強く生きていつて欲しい。皆さんの健康と活躍を祈念しています。

卒業・修了おめでとう!!

電気工学科



「5年間を振り返って」

5年 電気工学科 住尾 知紀



この学校に入学するまで、高専はどんな学校なんだろうと不安でした。また、5年間という長い在学期間も自分自身を不安にさせる一因でした。

しかし、高専に入学してからの5年間はあつという間で、電気工学科に配属されてからの4年間はとても充実していました。もちろん、楽しいことばかりではありませんでした。数学や専門教科のテスト、実験レポート…。進級のかかったテストの前は友達と励まし合いながら勉強したこともあります。辛いことばかりで何度も心が折れそうになりました。しかし、それ以上に楽しかったことの方が印象に残っています。体育大会や高専祭といった行事はもちろん、普段の何気ない日々でさえ、忘れられない思い出になっています。このクラスになれてよかったです！



また、4年間ご指導していただいた先生方には感謝してもきれません。先生方に教わったことを活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

今、こうやって思い出を振り返ることが出来るのは、苦楽を共にした仲間たちのおかげだと感じています。諸々の理由で二緒に卒業できない人もいるけど(笑)、全ての出会いが自分にとって大切でかけがえのないものでした。本当にありがとうございます。またいつか会いましょう！

高専生活、2、3年生は子供の躰
4年生は技術者としての躰
5年生でやっと技術者教育

5年電気工学科担任 佐川 正人

電気工学科の皆さん、卒業おめでとう。同時にこれまで学生の成長を手助けして頂きました保護者の皆さん、謹んで卒業のお祝いを申し上げます。

+a年の学生も含め5年間はいかがでしたか。当初は変わった学校に来たなーと思い後悔したこともあったでしょう。でも高専生活は5年生が神髄でした。4年生までは定期試験科目数の多さ、週に2つの実験とレポート。これらを乗り越えて5年生を謳歌してこそ、高専生活の楽しさがわかったと思います。特に電気工学科は就職を夏休み前に全員決めたので楽園でした。4年生の見学旅行は、門限をしつかり守り、黒部ダムなどを見ましたね。良い思い出にしてください。

卒業したこれからは「知識を持った人材」ではなく、技術と知識をもつて「判断できる人材」が求められます。日本の「ものづくり」は20年もすれば崩壊するでしょう。そのとき日本で笑って生活するのは「判断する人」です。そして、肩書きや会社名に頼らず「自分の腕」に頼ることができる人間になってください。

皆さんは気づいていないかもしれませんが、意外と能力をつけています。この大楽毛での軌跡を背景に、自信と誇りを持って活躍してください。解散！

卒業・修了おめでとう!!

電子工学科



「5年間を振り返って」

5年 電子工学科 小野 龍志



最後になりましたが、時には厳しく、時には親身に接してくれた先生方のおかげで、個性の強い僕たちは卒業を迎えることが出来ました。専攻科生をこれからもよろしくお願ひします！大変お世話になりました。ありがとうございました。

「高専って進級難しいんですよ。」何度も親類の方などから尋ねられました。世間からそのように認識されている学校を5年間過ごしてきた僕らであれば、この先何があつても乗り越えられる気がします。友達と集まって勉強した時間、週末少し長めのバイトに入れたこと等を思い出し就職・進学後も頑張つてほしいと思います。

高専で5年の月日が経った今、5年あれば人は変わるものだと改めて思います。外見はもちろんのこと、2年生の時の授業中、ロッカーで蚊取り線香を焚いていたクラスとは思えないほどメリハリのあるクラスになったと思います。電子工学科に配属された当初は、こんなに個性が強いクラスがあるのかと感じたのを覚えています。卒業を目前に控えた今、配属当時と変わらず個性にあふれたクラスを見てみると、その当時を思い出し懐かしささえ感じます。決して静かなクラスでは無く、多数の先生方にご迷惑をかけてきましたが、この元気が、賑やかさが、今の活気ある5年電子工学科を創り上げたのだと思います。



「よりタフにそして柔軟に」

5年電子学級担任 坂口 直志

第45期 電子工学科卒業生のみさん、卒業おめでとうございます。そして皆さんがこの日を迎えるまで、皆さんを支え、ともに歩んで来られたすべての方々に心からお祝いを申し上げます。

技術者や研究者に求められる重要な性質の中で「タフさと柔軟性」は大事な性質だと考えています。特にタフさは様々な行動を進めるために最も重要な性質で、このタフさは人や状況により表れ方は様々です。いずれにしてもタフさは「頭が良い」「知識がある」だけでなく、自分の能力を精一杯使い物事に正面から向き合い乗り越えていくとする姿勢、そしてそれを継続する姿勢が重要な本質だと考えています。

社会に出ると、時として問題が重なることがあります。人生を送る上で、生半可な努力では実現できない事柄、計算や予測が不可能な事柄、また不合理で理不尽に見える事柄など数えきれない困難が発生する可能性があります。そうした課題に臆せず、向き合い、新しい仕組み新しい生き方新しいものの見方を生み出すために、力の限りを尽くすことをいとわない姿勢、それこそが「タフ」であると考えます。

そして最も大切なことはこのタフさは、様々な学問的、社会的、あるいは人間的な触れ合いの中で培われるということです。多様な価値観を恐れず認め合い成長し「タフ」を身につけて下さい。たくましい技術者に成長して下さい。君たちは必ず成れます。柔軟性に関してはいずれまた別の機会に。

君たちのこれからが、楽しく実りある人生になるよう心から願っています。



5年間お世話になりました。本当にありがとうございました。とうございました。

自分は厚岸からの通学で部活にも入らず、高専での思い出はクラスのひとりの時間しかないのは少し残念でもあります。しかし、今後どんな道を歩むにしても今のクラスのように腹の底から笑って過ごせる人たちは今後出会えないように思います。

高専のイメージは暗く、その中でも情報といえは暗い人間の集まりと感ずるかもしれませんが、学祭のバザーでは売り上げ1位になったり、その他の行事の参加はイマイチなところもありますが、最高のメンバーが揃ったクラスだったと思います。

最後になりますが、先生方にとっては問題を起こさないクラスであったと思います。しかし、再試になる人が多かったり、期限を守らない人間ばかりで心配も多かったかと思いますが、自分たち学生は皆心から感謝をしています。

5年間お世話になりました。本当にありがとうございました。とうございました。



「5年間を振り返って」

5年 情報工学科 松田 智貴

入学前は高専での5年という時間は、今後の人生でも長いものだと感じていました。しかしこれを書くにあたり、5年間を思い返してみるととても早く短いものであると感じています。今のクラスになつてからは4年という時間を一緒に過ごしてきた、思い出はとてまたくさんあり楽しい思い出ばかりです。

高専を終えた君たちへ

5年情報工学科級担任 林 裕樹

5年情報工学科の皆さん、卒業おめでとございます。

皆さんにとっての5年生を終えるまでの時間は、有意義なものでしたでしょうか。思っていたよりも長い期間だった、それとも短い期間だったでしょうか。今の皆さんの感じ方は、もしかするとそれぞれで違っているでしょう。ただ多分確実に言えるのは、この先ふと高専時代のことを思い返す時には、いろいろな苦楽がギョツと凝縮された、あつという間の学生生活となつていいるだろうということです。

プログラミングの課題で必死にプログラムを考え、ネットワークの設定で混乱し、専門用語満載の授業で言葉の洪水に溺れかけ、きつと苦勞した思い出はいくらでもあるでしょう。でも、難しい問題の正解を自分の力で導き出した、行事で友達と楽しい経験をともにしたり、苦勞ではない思い出もいくらかもあると思います。

これから先も、きつとたくさんさんの苦楽を経験することになります。でも、高専での苦楽を経験してきた皆さんなら、苦は乗り越え、楽は楽しみ、さらにその先へ進めるはずですよ。そして、そのように世の中で活躍してくれるのが、担任を始め高専の教職員の願いです。

これからも、今までの経験の上にある自分の力を信じて、大いに活躍してください。

卒業・修了おめでとう!!

建築学科



卒業を迎えるに
あたって

5年 建築学科
掛村 大輔



た。あつという間の4年間で
した。クラスは男女が半数ず
つなので、普通校と同じよう
な生活を送っているような感
覚で他の高専生とは少し違っ
た高専生活でした。勉強に関
しては専門的な分野が幅広
く、設計や模型製作、資格
の勉強やパソコンのソフトを使っ
た図面の製作など色々な経験を培うことができまし
た。しかし、高専というだけあつて試験等もなかなか
難しくやめていった仲間もいました。しかし、5年生
までがんばってきた今では本当に高専生でよかったと思
えています。

高専には色々な人がいて、勉強や専門知識以外に
も様々な特徴を持った人が多くいます。その出会いを
大切にすることでよりよい生活が送れると思います。
また、学生生活の中で新しい何かを見つけるには、高
専は非常にいい環境です。新入学生として入学する中
学生の方々には有意義な生活を送ってほしいです。
最後に先生方へ。4年間、または5年間お世話に
なりました。迷
惑をかけることも
多々ありましたが、先生方のお
かげでここまで無
事にこれました。
今後は今までの経
験を生かし技術
者、社会人とし
ての自覚をもちな
がら自分たちの道
へ進んでいきま
す。
本当にありが
とうございまし
た。



最愛なる息子・娘たちへ

5年建築学科級担任 千葉 忠弘

50期建築学科の皆さん、卒業おめでとう。皆
さんとは、2年間とても濃い時間を過ごさせてい
ただきました。皆さんは見学旅行、学校祭、
就職・進学試験、卒業研究と様々な体験を通
して逞しくなりました。紙面では書ききれない
様々な問題にとともに立ち向かい、この日を迎え
ることができ感慨無量です。

担任としては、反省すべきこともあります。
例えば学生相談室長を3年間経験した後、担
任に復帰しました。相談のモットーは、傾聴につ
きます。耳を傾け話を聞きます。皆さんの声をどれ
だけ聞けたか、反省しています。悩み多い10代
後半。4年終了時に、たくさん進路変更を
余儀なくさせたこと、今でも悔やみます。

教員歴33年。たくさん卒業生を出してきま
した。私たちの使命は、夢で満ちた新入生を卒
業させること。だから、進路変更で卒業させる
ことができなかった学生さんには、申し訳ない気
持ちです。

5年前の高専だよりも書きました。皆さん
にも伝えます。

私の好きな詩（山本よしき「ピンチの裏側」
から）

「（前略）愚痴をこぼしたり ヤケを起こすと
チャンスを見つける目が曇り
ピンチを切り抜けるエネルギー さえ失せてし
まう ピンチはチャンス
どつしりかまえて ピンチの裏側に用意されてい
る チャンスをみつけよう」

これまで以上にたくさんさんの試練が、あなた方
にやってくるでしょう。落ち込んで、泣いて、引
きこもって。でも、あなたを支えてくれた家族、
友人がいます。これまでたくさんさんの喧嘩をして、
時として断絶しても。

卒業できたのは、家族、友人の支えがあつた
からこそ。だから思い出して、ともに苦しんだ日々
を。

息子たち、娘たち、頑張れ！



充実した高専生活

建設・生産システム工学専攻

小池 恭弥

思い返してみればこの7年間は、とても充実していた高専生活でした。

2年生から4年間共に過ごしたクラスではバカ騒ぎできる友人を作り、今でも毎日連絡を取ったり、オンラインでゲームしたりしています。

趣味でしていた弓道の同好会を作った仲間と修練し、大会に参加したり検定を受けたりしました。4年生で人生初のバイトをはじめ、いい経験ができました。5年生の高専祭クラスパフォーマンスで、ベスト3に入ったのは楽しかったし良い思い出です。先に卒業して上京した友人のところへ遊びに行ったりもしました。学生だからこそのできるたくさんさんの楽しい思い出を作ることができたのは、高専ならではの自由さと、7年という時間があつたからです。

もちろん、勉強の手を抜いたわけではありません。専門教科を学び始めたころからテストではいい点を取って学級上位に入ることでもできました。建築の魅力や6年間触れて、私はこれから、駅に携わる仕事を歩みます。設計の授業で大塚毛駅の改修設計を行ったり、都市計画や建築法規で勉強したことが役立つくれることでしょう。

最後に、専攻科を修了できたのは両親、友人、そして、先生方が私を支えてくれたおかげです。7年間本当にありがとうございました。

鉋路高専でよかった

電子情報システム工学専攻

羽賀 渉

鉋路高専にて私は、本科と専攻科の合計7年間、本当に多くのことを学ぶことができました。鉋路高専に入学が決まった中学3年生のあの時は、7年も通うことになるとは思っていませんでした。多くの仲間と協力して勉強や実験をすることができ、

先生方から数えきれないほどの助言をいただきました。本科で私は電子工学科の学生として勉強をしていました。決して熱心に勉強ができていたわけではないと思いますが、同級生や先輩の助けもあり、楽しく学生生活を送ることができました。5年間という長い本科生としての生活の中で、最もいい経験になったと思うのは、4年生の時の見学旅行です。様々なタイプの企業の様子を知ることができ、東京や大阪、京都といった都市で貴重な体験をすることができました。

専攻科での一番の思い出は、タイへ夏季短期留学したこと。私にとつて初めての海外だったので、いろいろ大変に感じることもありましたが、しかし、留学先の所属研究室で温かく迎えてもらい、無事に1ヶ月を乗り切ることができました。

鉋路高専の最後の3年間は研究をすることになり、同級生の仲間たちもそれぞれのテーマで進めていきました。先生方に本当にお世話になりながら研究を進めることができ、今日まで学生生活を送ってこられました。鉋路高専の仲間と先生方に深く感謝します。

平成をステップとして

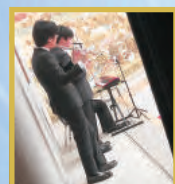
専攻科長 草刈 敏夫

平成が終わろうとしています。それとともに、皆さんは新しい道に踏み出すこととなります。皆さんが生まれ育ってきた平成の時代、多くの技術が開発され、生活が便利になってきました。一方、地震や津波、豪雨といった様々な自然災害が発生し、現在も不自由な生活を強いられている中で、多くの方々が未来に向かって努力を続けています。反面、耐震偽装やデータ偽装と、技術者のモラルが失われた問題も発生し、人間の強さと弱さが浮き出されました。皆さんが踏み出す未来は、平穩無事とはいかないでしょう。グローバル化や少子高齢化に伴う社会変動、深刻な労働力不足、気候変動による異常気象や地震・津波などの自然災害など、様々な問題が待ち受けています。しかし、先人たちは、敗戦からの復興を成し遂げ、2度目となる東京オリンピックと大阪万博を開催するという、底力を発揮し、問題に直面してもひるまずに立ち向かってきました。

平成から繋がる未来をつくるのは皆さんです。先人たちの意志を引き継ぎ、社会の発展や人々の幸福に貢献するために、この学校で培った知識や技術を役立ててください。



吹奏楽部 定期演奏会



こんにちは！鉦路高専吹奏楽部です。私たちは2018年12月9日にコリヤンフォー鉦路文化ホールにて第13回定期演奏会を行いました。夏のコンクール曲である「伯爵夫人マリツア」や、吹奏楽の演奏会ではお馴染みの「ディズニー・ファンタジーリユニオン」を演奏したほか、2つのチームに分かれて演奏を行う紅白合戦、即興での幕間演奏などこれまでにやったことがない演出にも挑戦しました。当日はたくさんのお客様に私たちの演奏を聞いていただけたと同時に、来年度に向けて自分たちのスキルの向上を誓う演奏会となりました。2019年も12月に定期演奏会を行う予定です。2018年度よりも新しい試みができるよう頑張りますので、ぜひお越しください！

卒業生進路先インタビュー

大学編入合格編

「進学先」北海道大学



5年情報
西村 健斗

Q どうして北大に？

A 今研究室で学んでいる自然言語処理という分野に興味をもつて、北大の自然言語処理の研究室が、すごくエンターテインメントに富んでいて、漫才の内容に関する言語解析とかをやっていることに魅力を感じ、志望しました。

Q 民間就職は考えましたか？

A 考えましたが、先生方にも言われたんですけど、自分は勉強とか研究の方があつているなあと、3年生頃から勉強一本で頑張りました。

Q 北大を受験するにあたって、重点的に勉強したものはありますか？

A 推薦受験だけだったので、数学等の勉強というよりは、専門科目に関して「こういう知識を身につけた方がいい」ということを勉強したり、面接や小論文の対策を重点的にしました。

Q 推薦落ちたらどうしようと思いましたか？

A 専攻科に行つて再チャレンジしようと考えていました。(笑)

Q 推薦受験対策をしていく中で大変だったことはありますか？

A 小論文です。昔から文章を書くのが苦手で、徹底的に「こんな文章でいいこう」と暗記して試験に臨みましたが、実際の問題が予想と全く違ったので、かなり焦りました。

Q 北大に進学してこんなことしたい！こんな社会人になりたい！という考えはありますか？

A 将来は北海道内で就職して、言語処理を活かした仕事に就きたいです。昔から、ゲームを作りたいという考えがありまして、言語処理を使つて、例えば耳が聞こえない人のために言語処理を活用したゲームを作つてみたい・・・ということを考えることができたらいなと思つてます。

Q 来年度以降、大学進学を目指す人へのアドバイスがあれば教えてください。

A 早めに自分の行きたい場所を決めることが一番大事だと思つています。決めるのが遅ければ遅いほど、そこからできることというのが限られてくるので、「自分はどうしてもここに行きたい」という理由をまず見つけることが大事だと思ひます。

行きたい場所を見つけたら、その場所について徹底的に調べて、そこに合った対策をしていくということをするとう良いのではないかと思ひます。

民間企業合格編

「就職先」

東京電力ホールディングス株式会社



5年電気
下吉 小春

Q どうして東京電力に？

A 元々電力会社に興味があつて、企業説明会の時に東京電力の説明が、電力会社の中でも一番先を行つているという印象を受けたからです。女性に関する福利厚生が充実していることも決めてですね。

Q 就職対策等詳しく聞かせてください

A 面接練習はかなりしました。先輩に面接の雰囲気聞き、Eの(エントリーシート)は内容を自分の中で整理して、「面接で深堀されてもかまわないぞ」というように、自分の考えや言葉から真に得られたもののみを書いて、面接の練習をしました。あとは企業のイベントや合同説明会に積極的に参加しました。人事の方に顔や名前だけでも知ってもらふということが大事と思ひました。

Q 就活の中で大変だったことは何ですか？

A 就活対策で、釧路高専での5年間や今までの人生を見つめなおした時に、「あ、意外と何もしないかも」と思つてしまふことがありました。その時に、あの時もつと勉強頑張つておけばなあと、もつとこうしておけばなあと風にながタイプに考えてしまふことがあり、落ち込んでしまいました。

Q 落ち込んだ時に、何か気分転換になるようなことはしましたか？

A お笑いが好きなので、お笑い動画見て笑つて気分転換していました。

Q 釧路高専を卒業後、どのような社会人になりたいですか？

A 周りをきちんと見ることができるようになりたいです。今は正直自分のことで精一杯になることがすごく多いのですが、周りも見て、みんなをサポートできる、そういう人になつていきたいと思います。

Q 最後に、来年度以降民間就職を目指す学生に、何かアドバイスはありますか？

A 就活で私が思つたことは、今まで色々なことを頑張つてきたけど、何も考えずに過ごしてしまつたこと、流されるままにこまどきでしまつたことです。自分の経験したことを書き出す作業をしないと、どう風、何をやつて、何を待たのかというのがわかつてなかつたので、就職を目指す皆さんは色々なことに意味を持つて、日々何か目標を見つけて活動をしていくと良いと思ひます。

平成30年度卒業生・修了生進路先一覧 (H31.3.1現在)

就職先一覧		道内企業	道外企業
■機 械 工 学 科		・北海道旅客鉄道株式会社 ・株式会社釧路製作所 ・株式会社荏原製作所 ・シチズンタ張株式会社 ・パナソニック ・スイッチングテクノロジーズ株式会社 ・三建設備工業株式会社	・サントリーホールディングス株式会社 ・村田機械株式会社 ・フジテック株式会社 ・ファナック株式会社 ・日本原燃株式会社 ・株式会社ジェイベック ・柴田科学株式会社 ・大同メタル工業株式会社 ・ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 ・第一精工株式会社 ・東海旅客鉄道株式会社 ・株式会社キッツ ・ヤスダファインテ株式会社
	■電 気 工 学 科	・よつ葉乳業株式会社 ・北海道電力株式会社 ・北海道電気工事株式会社 ・北海道電気技術サービス株式会社 ・一般財団法人 北海道電気保安協会 ・株式会社電制 ・パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステムズ	・サントリーホールディングス株式会社 ・株式会社大塚製薬工場 ・日本ビソー株式会社 ・JXエンジニアリング株式会社 ・富士電機株式会社 ・電源開発株式会社 ・ファナック株式会社 ・旭化成株式会社 ・シャープ株式会社 ・ユニチカ株式会社 ・中部電力株式会社 ・東京電力ホールディングス株式会社
■電 子 工 学 科		・北海道電力株式会社 ・札幌日信電子株式会社 ・東洋農機株式会社 ・株式会社 明治 十勝工場	・NTT東日本グループ会社 ・株式会社大和テクノシステムズ ・ソニーLSIデザイン株式会社 ・株式会社日立ハイテクフィールドディング ・富士電機株式会社 ・パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社 ・キャノンマーケティングジャパン株式会社 ・ファナック株式会社 ・ウェルネット株式会社
	■情 報 工 学 科	・SOC株式会社 ・ラテラル・シンキング株式会社 ・帯広ガス株式会社 ・株式会社ポータス ・株式会社ブリッジ ・株式会社北海道LIXIL製作所 ・ウェルネット株式会社	・トランスコスモス株式会社 ・株式会社メンバーズ ・ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 ・株式会社アドービジネスコンサルタント ・株式会社RayArc ・株式会社JALエンジニアリング ・富士通アプリケーションズ株式会社 ・NTT東日本グループ会社
■建 築 学 科		・株式会社北王 ・三建設備工業株式会社 ・株式会社家計画 ・北海道職員 ・株式会社武田建築設計事務所 ・株式会社橋本川島コーポレーション ・北海道エア・ウォーター株式会社	・佐藤工業株式会社 ・株式会社フジタ ・アイグステック株式会社 ・株式会社グランドホーム ・六興電気株式会社 ・西松建設株式会社 ・住友不動産株式会社 ・株式会社あい設計 ・東急建設株式会社 ・東亜建設工業株式会社 ・日本空港テクノ株式会社 ・株式会社清和ビジネス ・トランスコスモス株式会社 ・東京不動産管理株式会社
■建設・生産システム工学専攻		・北海道セキスイハイム工業株式会社	・東京急行電鉄株式会社
■電子情報システム工学専攻			・キャノンシステムアンドサポート株式会社 ・キャノンメディカルシステムズ株式会社 ・株式会社ASJ ・セイコーエプソン株式会社 ・東京エレクトロンFE株式会社 ・株式会社ソルクシーズ ・テコム株式会社 ・パナソニック株式会社 ・アプライアンス社 ・株式会社大気社 ・武田テバファーマ株式会社 ・三菱電機ビルテクノサービス ・ダイキンエアテクノ株式会社
進学先一覧			
■機 械 工 学 科		・釧路高専専攻科	・長岡技術科学大学
		・豊橋技術科学大学	・室蘭工業大学
■電 気 工 学 科		・豊橋技術科学大学	・北海学園大学
		・釧路高専専攻科	・長岡技術科学大学
■電 子 工 学 科		・豊橋技術科学大学	・室蘭工業大学
		・筑波大学	・福井大学
■情 報 工 学 科		・横浜国立大学	・山口大学
		・釧路高専専攻科	・長岡技術科学大学
■建 築 学 科		・豊橋技術科学大学	・北海道大学
		・室蘭工業大学	・千葉工業大学
■電子情報システム工学専攻		・釧路高専専攻科	・豊橋技術科学大学
		・千葉大学	・信州大学
		・千葉工業大学	・北海道医療専門学校
		・北陸先端科学技術大学院大学	

フィンランド留学報告



留学生交流パーティ

留学生生活を振り返って

建設生産システム工学専攻 布目 礼実

フィンランドに留学するまで私は、小学校、中学校、高専を自宅から通い、慣れ親しんだ環境から離脱することなく過ごしてきました。毎日毎日、同じ道の往復だけの日々、そのため知らない土地へのあこがればかりが膨らみ続け、よく言えば積極果敢、悪く言えば少し考えなしにフィンランド留学への参加を決め、去年の8月、トル

ルク市での3ヶ月間の留学生活が始まりました。もちろん、現実はその甘くはなく、留学してしばらくは授業どころか日常生活をこなすだけで精いっぱい、度々トラブルを起こしていました。また、知らない土地でコミュニケーションを築き上げることは容易なことではなく、日常会話さえ上手いかな寂しさと不安から、帰りたいと思ってしまう日もありました。しかし、毎日を何とかこなしていくうち、食事会やレクリエーションに参加したりなど、徐々に打ち解けていくことができました。それだけでなく、休日に博物館や美術館、お城を見て回ったり、オーロラを見に小旅行をしたりなど留学をしなければ決して得られなかった世界を体験することができました。

後悔した日もあったけれど、思い切つて留学を決意して本当によかったと思っています。留学中支えてくださった先生方、学生課の皆さん、本当にありがとうございました。



ムーミンランドにて



現地でお世話になった方々

企業とともに宇宙へ挑戦!

ロケットランチャープロジェクト同好会副会長 伊勢谷 拓実

昨年、インターステラテクノロジズ社（ISJ社）が打ち上げようとしているロケットの発射台（ランチャー）を釧路製作所と本校が共同で製作するということになりました。私たち学生もその事業に参加するため、ロケットランチャープロジェクト同好会を発足しました。そして、12月15日に、「ISJ」社を見学させていただくという貴重な体験をさせていただきました。実際に、稲川ISJ社長の講演を聞いて、ロケット開発の意義や大変さを深く知ることができました。また、私たち同好会がとて大きなプロジェクトに参加したという事を痛感しました。最近では、同好会の最初の仕事として、ランチャーの模型の作成を行いました。実際の1/8スケールで作ることで、ランチャーの構造や動きを理解する活動が続けています。その途中経過を2月2日、3日に行われたメイ



ロケットランチャーの完成予定が2023年と聞いていますが、私は、来年度で釧路高専を卒業するので、完成をこの目で実際に見ることができません。その代わり、ロケットランチャー同好会の礎を築いていき、私たちが携わったランチャーでロケット産業が発展していくことを楽しみにしていきたいと思っています。



新寮長 あいさつ

4年建築学科
荒井 ももな

この度女子寮生会長になりました、4年建築工学科の荒井ももなです。
寮では様々な規則があり、不自由に感じることもあると思いますが、ですが、寮生活でしか経験できないことはたくさんあります。また、礼儀やマナーを学べる場所でもあります。常に友達と接し、一緒に生活することで起こる人間関係などに苦労することもあると思います。しかし、集団生活を送ることはどんな経験も無意味なこととはなく、今後の人生に役に立つと思っています。
寮の運営には、寮生全員の協力が欠かせません。女子寮では特にあいさつを重視しています。学年学科関係なく、お互い敬意をもって接することで気持ちよく生活できます。自分本位にならず、一人一人が寮の二員だという自覚をもって寮生活を送りましょう。
全員がよりよい寮生活を送れるよう、みなさんからたくさん意見を待っています。
寮生会や先生方、そして女子寮生の皆さんと協力して、快適な寮生活を送る助けができればと思います。

新学生会長 あいさつ

学生会長
伊藤 拓未



動して来ました。私の予想通り、生徒会のような学校行事の運営などの活動をしています。しかし、いざ活動してみると、生徒会とは大きく違う点がありました。それは先生方です。釧路高専では企画から運営までほぼ全てを学生が行います。つまり、やりたいことができる反面、やったことに対する責任は重くなります。低学年では感じていなかった責任を、学年が上がるにつれて感じるようになりました。
その責任をプレッシャーと思わず、責任感と受け止め活動していきます。応援のほど、よろしくお願いします。

こんにちは！
2019年度学生会会長を務めさせていただく3年建築の伊藤拓未です。
私は、中学のときに生徒会長をしていました。そこで釧路高専に入学してからすぐに学生会に入部し、活

新寮長あいさつ

4年建築学科
藤澤 晴稀



この度、男子寮生会長となりました4年建築学科、藤澤晴稀です。
寮長として最初に行った仕事は、1月12日〜13日に行われた道内4高専の交流を目的とした「道内寮生交流会」でした。ここでは、各高専の寮内の現状について話し合い、次年度の寮の運営をより良いものとしていくという場で、とてもいい刺激を受けました。
男子寮の寮生会の構成としては、3年〜5年で各学年6名ずつ、計18名で構成されており、寮レクや夏祭、避難訓練などの様々なイベントの運営や各学年の指導などを行っています。
ここでの寮生活を通して、少しでも自分自身の成長に繋げることのできるような、充実した毎日を送れるようにしていきたいと思います。

平成30年度 寮ではこんなイベントがありました。



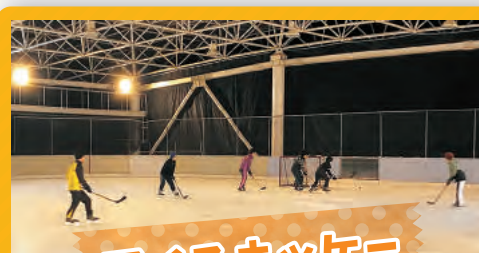
女子寮レク



夏祭り



防災訓練



アイスホッケー



冬季校内
体育大会





退職に際して

情報工学科 大貫 和永

昭和の最後の年4月、情報工学科1期生が3年になるタイミングで学科2番手の教員として卒業後13年ぶりの母校に戻った。前職では、UNIXとC言語での研究開発プロジェクトに所属し、同一環境を教育に使いたいというのが赴任時の夢だった。

高専ではクラス全員がPCを使いながら授業できる環境が整備され、当時として素晴らしい教育環境で驚いた。これを年度進行と共に同僚と協力し、拡充させた結果、赴任後10年立たずして、前職で利用していたと同等の環境を学生に提供できた。段階を追って夢に近づいたが、当時の学生・同僚と大喜びしたことを懐かしく思い出す。実現が難しそうな夢を現実にしたのは、私が思っていた以上に高専が国から大事にされているからだ。

教育するプログラミング言語は、同僚間で様々な意見があったが、最初の5年以内にschemeとC言語に定着した。3年生のC言語を学んだ学生に、構造化の概念を身につけさせ大規模プログラムを書けるように、4年の実験に構造化実験を導入した。最初の題材はエディターだったが、素晴らしい作品が続出し学生の力に驚いた。

大学は、学問として理論を教えるが、それを利用する技術の習熟は学生次第だ。高専は、上記実験のように仲間同士、でき具合を比べ・助け合い、熟練できる科目も組み込める。これは高専発足時より、実験・実習を重視しているため、今後も学生を利する、高専教育の優れた点である。

教育効果をあげるには、提供する教材が重要であり、それを用意する責任は重いが、次年度の新教材準備作業は、学生が喜ぶ様子を想像するといつも楽しめた。もっと面白くするためのオブジェクト指向を教えたいという欲求は、平成9年に発表直後の「asas」を教材として実現できた。しかし、カリキュラムがプログラミング偏重気味となった。

情報の仕事現場ではプログラミングよりも上流のシステム設計が大事。システム設計教育も充実させようと、平成13年CISCOシステムズ社から、ネットワークシステム設計教育用オンライン教材を提供してもらえらることになり、同僚と二人で教材利用の訓練を受講、学生の立場を久々に味わい自分の指導方法を見直す機会となった。

C言語、構造化実験、オブジェクト指向、ネットワーク設計と新しい教材導入のたび、これは学生に役立つという期待に喜びを感じ、楽しく仕事をさせてもらえたが、都度担当科目を快く引き継いでくれた同僚がいた。ありがたかった。あれから何年も経過した。私には全く無関係にそれぞれの科目がもつと素晴らしくなっている。

私は本年度で退職だが、新年度は最後の情報工学科生が卒業する。最後の卒業式を見た。もう少し働かせてもらおう。どの授業科目も学生に役立つよう計画・作成されている。健康で元気に取り組んだら、すぐにそれがわかる。わかて取り組めば、必ず楽しくなる。楽しいと元気になる。学生の皆さんには高専をもっと楽しんでもらいたい。

行事予定

3月15日(金)	卒業証書授与式・修了証書授与式
3月16日(土)	学年末休業・春季休業(～4月4日(木))
4月4日(木)	開寮日(2～5年)
4月5日(金)	始業式(2～5年) 健康診断(～9日(火)) 特別時間割(～9日(火))
4月7日(日)	入学式・編入学式
4月8日(月)	新入生ガイダンス(～9日(火)) 専攻科ガイダンス
4月24日(水)	開校記念日(通常授業)
4月27日(土)	通常授業
4月28日(日)	閉寮日
5月5日(日)	開寮日
5月6日(月)	通常授業
6月4日(火)	前期中間試験(～10日(月)) ※1、2年生は5日(水)～10日(月)